

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	682	獣害防止施設設置補助金の交付	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
担当部課名	島ヶ原支所 産業建設課		細目	106	鳥獣害防止事業
作成者氏名	増田 伸一	連絡先	細々目	01	鳥獣害防止事業
		59-2294			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	有害獣による農作物への被害を受けた農家	獣害防止施設設置に係る経済的負担を軽減することになり、獣害防止施設の設置が促進され、被害が防止される。
本年度事業内容	獣害防止施設事業助成金の交付	
開始年度	平成 13 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		獣害防止施設設置事業助成金交付要領

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.125	0.125	0.125
	人件費合計(A)	900	900	900
②支出内訳(千円)	事業費(B)	47	450	450
	委託料			
	負担金補助金	47	450	450
	その他			
合計(A+B)		947	1,350	1,350
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	947	1,350	1,350
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
獣害防止施設設置補助金	件数	3	5	5
受益面積	a	78	80	80

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
受益面積	事業対応された農地の拡大が獣害防止の指標となる。	a	780 目標 ()	800	800
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成13年度より旧島ヶ原村において当該補助制度が実施され、農業共済事務組合の助成制度と併せて、事業費の50%を助成してきた。当島ヶ原管内においては、ここ数年中山間地域等直接支払制度による共同取組み活動の1つとして獣害防止対策事業が実施され、相当程度優良な農用地に防護柵が設置されている。しかしながら、早期に設置した防護柵等の老朽化等により、有害獣による被害が増大しているため、交付要件の見直しも踏まえた、継続した取組みが必要である。
--

評価	必要性	4	有害獣による被害が増大しているため、継続することが必要と考えるが、上記の理由により見直しも必要である。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	4		
	効率性	3		